

平成19年救急・救助の概要（速報）

総務省消防庁では、全国の救急業務及び救助業務の実施状況等の調査を毎年実施しており、今般、その調査結果を「平成19年救急・救助の概要（速報）」としてとりまとめましたので公表します。

【資料】

[平成19年救急・救助の概要（速報）](#)



（連絡先）

救急企画室救急企画係

担当：松野補佐、島田係長

電話：03-5253-7529（直通）

FAX：03-5253-7539

国民保護・防災部防災課応急対策室航空係

担当：大塚航空専門官、山本係長

電話：03-5253-7527（直通）

FAX：03-5253-7537

国民保護・防災部参事官付救助係

担当：坂野補佐、大久保係長

電話：03-5253-7507（直通）

FAX：03-5253-7576

平成 19 年救急・救助の概要（速報）のポイント

1 救急出場件数は増加し、搬送人員は減少

平成 19 年中の救急自動車による救急出場件数は、前年に比べて約 3 万 3 千件増加し、約 527 万件でした。

一方、搬送人員については、前年に比べて約 9 千人減少の約 488 万人となりました。搬送人員を事故種別ごとにみると、交通事故による搬送人員は約 3 万 4 千人減少し、急病による搬送人員は約 2 万 6 千人増加しています。

- ・ 救急自動車による救急出場件数及び救急搬送人員はそれぞれ 527 万 982 件（対前年比 33,266 件、0.6%増）、488 万 3,482 人（同 9,111 人、0.2%減）でした。
- ・ 救急自動車は約 6.0 秒（前年と同じ）に 1 回の割合で出場しており、国民の約 26 人（前年と同じ）に 1 人が搬送されたこととなります。
- ・ 現場到着までの所要時間は全国平均で 6.9 分（前年 6.6 分）となっています。
- ・ 医療機関収容までの所要時間は全国平均で 33.2 分（前年 32.0 分）となっています。

2 救急体制の充実と救急業務の高度化は着実に進展

平成 20 年 4 月現在、救急隊数は 4,896 隊と 5,000 隊に迫り、救急救命士の資格を有する消防職員は 2 万 1 千人を超えています。

また、救急救命士運用隊は全救急隊の 88.2%にあたり、目標である「全ての救急隊に救急救命士が 1 人以上配置される体制」に着実に近づくとともに、救急救命士による応急処置内容・件数も充実してきています。

- ・ 救急隊数は 4,896 隊（対前年比 50 隊、1.0%増）、救急隊員数は 59,194 人（同 22 人、0.04%減）、うち、専任隊員 19,730 人（同 104 人、0.5%増）、兼任隊員 39,607（同 247 人、0.6%減）人となっています。
- また、救急救命士有資格者数は 21,816 人（同 1,748 人、8.7%増）となりました。
- ・ 救急隊員（3 人以上）のうち少なくとも 1 人が救急救命士である隊は、全国 4,896 隊のうち 4,319 隊（88.2%）となり、その割合は年々高まっています。
- ・ 器具による気道確保、除細動、静脈路確保及び平成 18 年 4 月より実施可能となった薬剤投与といった特定行為の処置件数も合計で 83,983 件ののぼり、対前年比 7.0% 増となっています。

3 市民による応急手当件数の割合は過去最高

消防機関の実施する応急手当普及講習の修了者数は年々増加し、平成 19 年中は 150 万人を超え、実際に救急搬送の対象となった心肺機能停止症例の約 39%において、市民により応急手当（胸骨圧迫（心臓マッサージ）・人工呼吸・AED（自動体外式除細動器）による除細動）が実施されています。

- ・ 応急手当普及講習の修了者数は、157 万 1,562 人となり、国民の約 81 人に 1 人が受講したこととなります。（前年は約 86 人に 1 人）
- ・ 市民による応急手当が実施された傷病者数は、全国の救急隊が搬送した心肺機能停止傷病者数の 39.2%（対前年比 3.9%増）にあたる 43,277 人に及んでいます。

4 交通事故による救助出場件数、救助活動件数の割合が第 1 位

救助出場件数、救助活動件数のうち、交通事故による件数がともに第 1 位の割合（それぞれ、37.7%、33.2%）を占めています。

- ・ 平成 19 年中の救助出動件数は、全体で 8 万 311 件であり、交通事故によるものが 3 万 241 件（全体の 37.7%）で昭和 55 年以降、第 1 位の出動原因となっています。
- ・ 同様に、救助活動件数は、全体で 5 万 1,954 件であり、交通事故によるものが 1 万 7,220 件（全体の 33.2%）で昭和 58 年以降、第 1 位の活動種別となっています。

5 消防防災ヘリコプターによる救急出動件数が過去最高

消防防災ヘリコプターによる救急出動件数は年々増加し、平成 19 年中は過去最多の 3,168 件となりました。

- ・ 平成 19 年中の消防防災ヘリコプターによる全出動件数は 6,349 件であり、そのうち救急による出動件数が 3,168 件（全体の 49.9%、対前年比 406 件増）と過去最多を記録しました。

<参 考>

平成 20 年上半期の救急出場件数等について

政令指定都市等における平成 20 年上半期（1 月から 6 月まで）の救急出場件数等が前年同期と比較して減少していることを踏まえ、今般、全国の状況について調査を行ったところ、その概要は以下のとおりです。

1 全国の救急出場件数等について

- ・ 平成 20 年上半期の救急出場件数は 250 万 4 件で、前年同期と比べて 8 万 9,848 件（3.5%）減少しました。
- ・ 救急搬送人員は 229 万 6,733 人で、前年同期と比べて 10 万 7,628 人（4.5%）減少しました。
- ・ 全国の 807 消防本部のうち、出場件数が減少した消防本部は 563 本部（69.8%）、増加した消防本部は 240 本部（29.7%）、増減がなかった消防本部は 4 本部（0.5%）でした。
- ・ 出場件数の減少率が全国平均（3.5%）以上であった団体は、北海道、宮城県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、高知県の 13 都道府県で、大都市部に多く見られる傾向がありました。
- ・ 減少した 563 消防本部に要因と思われる事由を質問したところ（複数回答）、「一般市民への救急自動車の適正利用等の広報活動」が 286 本部（50.8%）、「頻回利用者への個別指導と毅然たる対応」が 109 本部（19.4%）等となっています。

2 政令指定都市等の救急出場件数等について

- ・ 平成 20 年上半期の救急出場件数は 86 万 6,520 件で、前年同期と比べて 4 万 5,974 件（5.0%）減少しました。
- ・ 救急搬送人員は 76 万 8,087 人で、前年同期と比べて 5 万 1,796 人（6.3%）減少しました。
- ・ 政令指定都市等の 18 消防本部のうち、出場件数が減少した消防本部は 16 本部（88.9%）、増加した消防本部は 2 本部（11.1%）でした。
- ・ 減少した 16 消防本部に要因と思われる事由を質問したところ（複数回答）、「一般市民への救急自動車の適正利用等の広報活動」が 12 本部（75.0%）、「緊急性のない利用者への代替措置情報の提供（民間事業者の活用）」が 6 本部（37.5%）等となっています。

<参考>

平成20年上半期の救急出場件数等

総務省消防庁

平成20年上半期の救急出場件数等(全国)

1 救急出場件数及び搬送人員

| 期 間 | 出場件数 | 搬送人員 |
|------------------|-------------|-------------|
| H20,1,1～H20,6,30 | 2,500,004 件 | 2,296,733 人 |
| H19,1,1～H19,6,30 | 2,589,852 件 | 2,404,361 人 |
| 増減 | -89,848 件 | -107,628 人 |
| % | -3.5% | -4.5% |

| 出場件数全体が平成20年度上半期と平成19年度上半期を比較して出場件数が増減した消防本部数について | | |
|---|---------|---------|
| 増加(a) | 減少(b) | 増減なし(c) |
| 240 本部 | 563 本部 | 4 本部 |
| (a)/807 | (b)/807 | (c)/807 |
| 29.7% | 69.8% | 0.5% |

2 事故種別出場件数(件)

| 事故種別番号 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
|------------------|-----------|--------|-------|-------|---------|--------|--------|---------|--------|--------|-----------|---------|-------|-------|--------|
| 期 間 | 合計 | 火災 | 自然災害 | 水難 | 交通 | 労災 | 運動 | 一般 | 加害 | 自損 | 急病 | 転院 | 医師搬送 | 資材搬送 | その他 |
| H20,1,1～H20,6,30 | 2,500,004 | 13,409 | 161 | 1,612 | 261,467 | 21,432 | 15,644 | 336,774 | 19,242 | 35,033 | 1,535,949 | 227,309 | 1,715 | 885 | 29,373 |
| H19,1,1～H19,6,30 | 2,589,852 | 13,732 | 121 | 1,635 | 285,748 | 22,951 | 17,601 | 339,190 | 21,035 | 36,074 | 1,588,777 | 231,898 | 1,236 | 917 | 28,937 |
| 増減 | -89,848 | -323 | 40 | -23 | -24,281 | -1,519 | -1,957 | -2,416 | -1,793 | -1,041 | -52,828 | -4,589 | 479 | -32 | 436 |
| % | -3.5% | -2.4% | 33.1% | -1.4% | -8.5% | -6.6% | -11.1% | -0.7% | -8.5% | -2.9% | -3.3% | -2.0% | 38.8% | -3.5% | 1.5% |

3 事故種別搬送人員(人)

| 事故種別番号 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
|------------------|-----------|-------|-------|-------|---------|--------|--------|---------|--------|--------|-----------|---------|------|------|-------|
| 期 間 | 合計 | 火災 | 自然災害 | 水難 | 交通 | 労災 | 運動 | 一般 | 加害 | 自損 | 急病 | 転院 | 医師搬送 | 資材搬送 | その他 |
| H20,1,1～H20,6,30 | 2,296,733 | 4,031 | 141 | 856 | 268,814 | 20,971 | 15,753 | 310,405 | 16,563 | 25,110 | 1,404,683 | 223,631 | | | 5,775 |
| H19,1,1～H19,6,30 | 2,404,361 | 4,360 | 122 | 866 | 299,254 | 22,525 | 17,762 | 315,004 | 18,528 | 26,455 | 1,465,645 | 228,081 | | | 5,759 |
| 増減 | -107,628 | -329 | 19 | -10 | -30,440 | -1,554 | -2,009 | -4,599 | -1,965 | -1,345 | -60,962 | -4,450 | | | 16 |
| % | -4.5% | -7.5% | 15.6% | -1.2% | -10.2% | -6.9% | -11.3% | -1.5% | -10.6% | -5.1% | -4.2% | -2.0% | | | 0.3% |

4 出場件数増減の要因について(複数回答可)

| 出場件数全体が「増加」した要因と思われる項目 | 回答欄合計 (A) | (A)/240本部 |
|---------------------------|-----------|-----------|
| ① 高齢搬送者の増加 | 135 | 56.3% |
| ② 熱中症搬送者の増加 | 15 | 6.3% |
| ③ 上記②以外の急病搬送者の増加 | 100 | 41.7% |
| ④ 不適正利用者の増加 | 49 | 20.4% |
| ⑤ その他(上記以外の要因と思われるもの及び不明) | 130 | 54.2% |

| 出場件数全体が「減少」した要因と思われる項目 | 回答欄合計 (B) | (B)/563本部 |
|----------------------------------|-----------|-----------|
| ① 一般市民への救急自動車の適正利用等の広報活動 | 286 | 50.8% |
| ② 頻回利用者への個別指導と毅然たる対応 | 109 | 19.4% |
| ③ 緊急性のない利用者への代替措置情報の提供(民間事業者の活用) | 40 | 7.1% |
| ④ 転院搬送業務への病院救急車の活用 | 31 | 5.5% |
| ⑤ その他(上記以外の要因と思われるもの及び不明) | 427 | 75.8% |

* 全国の出動件数減少率の平均は3.5%

- 出動件数の減少率が3.5%以上の都道府県
- 出動件数の減少率が3.5%未満の都道府県
- 出動件数が増加した都道府県

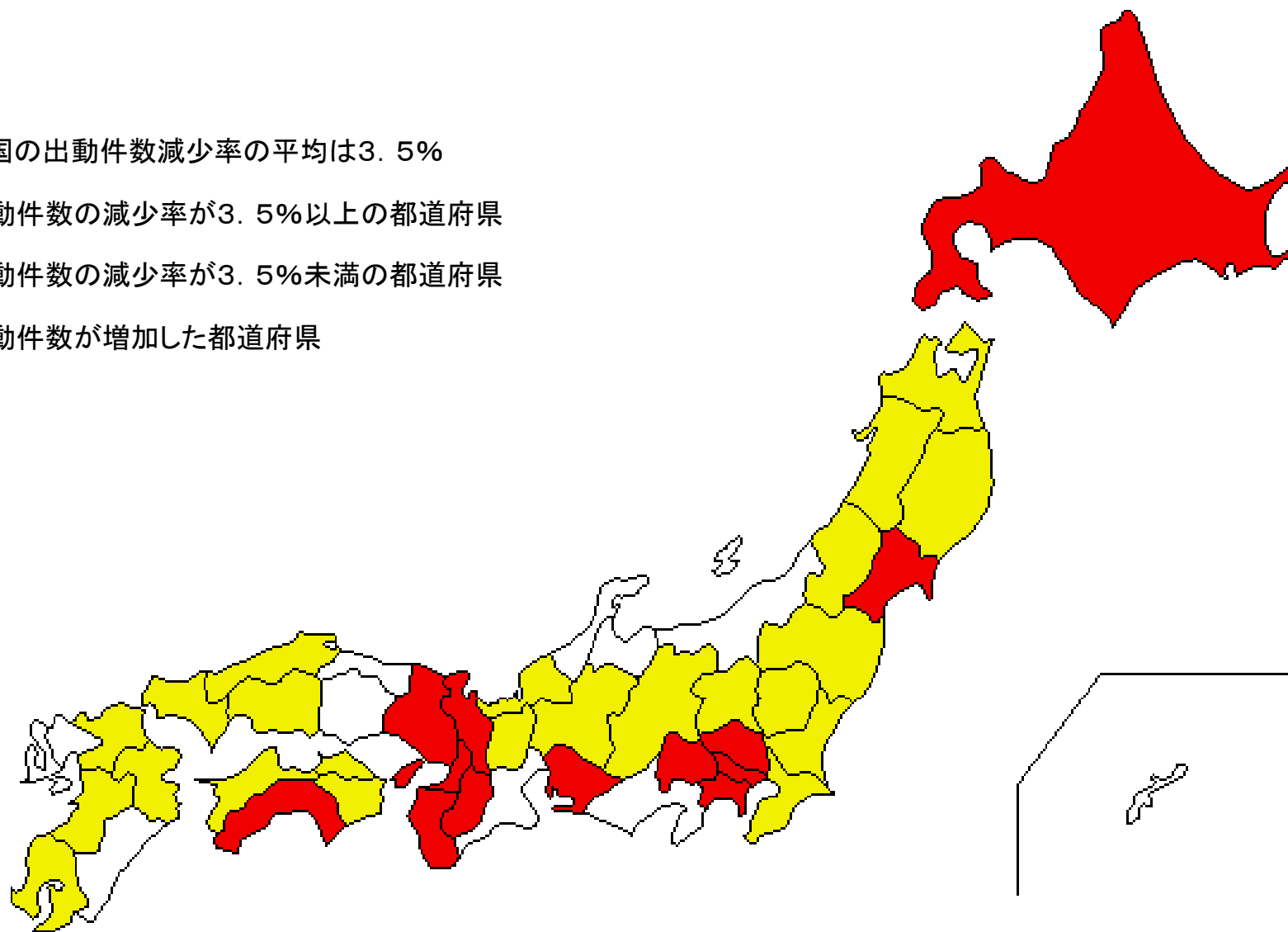


表4

平成20年上半期の救急出場件数等(政令指定都市等)

1 救急出場件数及び搬送人員

| 期 間 | 出場件数 | 搬送人員 |
|------------------|-----------|-----------|
| H20,1,1～H20,6,30 | 866,520 件 | 768,087 人 |
| H19,1,1～H19,6,30 | 912,494 件 | 819,883 人 |
| 増減 | -45,974 件 | -51,796 人 |
| % | -5.0% | -6.3% |

| | | | |
|---|-------|--------|-------|
| 出場件数全体が平成20年度上半期と平成19年度上半期を比較して出場件数が増減した消防本部数について | | | |
| 増加(a) | | 減少(b) | |
| 2 本部 | | 16 本部 | |
| (a)/18 | 11.1% | (b)/18 | 88.9% |

2 事故種別出場件数(件)

| 事故種別番号 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
|------------------|---------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|---------|--------|--------|---------|--------|--------|-------|--------|
| 期 間 | 合計 | 火災 | 自然災害 | 水難 | 交通 | 労災 | 運動 | 一般 | 加害 | 自損 | 急病 | 転院 | 医師搬送 | 資材搬送 | その他 |
| H20,1,1～H20,6,30 | 866,520 | 5,349 | 22 | 446 | 85,376 | 5,846 | 5,292 | 126,148 | 9,270 | 11,388 | 544,811 | 57,187 | 934 | 431 | 14,020 |
| H19,1,1～H19,6,30 | 912,494 | 5,675 | 15 | 488 | 94,844 | 6,418 | 6,062 | 128,817 | 10,310 | 11,574 | 574,461 | 59,224 | 352 | 474 | 13,780 |
| 増減 | -45,974 | -326 | 7 | -42 | -9,468 | -572 | -770 | -2,669 | -1,040 | -186 | -29,650 | -2,037 | 582 | -43 | 240 |
| % | -5.0% | -5.7% | 46.7% | -8.6% | -10.0% | -8.9% | -12.7% | -2.1% | -10.1% | -1.6% | -5.2% | -3.4% | 165.3% | -9.1% | 1.7% |

3 事故種別搬送人員(人)

| 事故種別番号 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
|------------------|---------|-------|-------|--------|---------|-------|--------|---------|--------|-------|---------|--------|------|------|------|
| 期 間 | 合計 | 火災 | 自然災害 | 水難 | 交通 | 労災 | 運動 | 一般 | 加害 | 自損 | 急病 | 転院 | 医師搬送 | 資材搬送 | その他 |
| H20,1,1～H20,6,30 | 768,087 | 1,454 | 19 | 237 | 82,901 | 5,724 | 5,273 | 112,520 | 7,780 | 8,516 | 486,093 | 56,699 | | | 871 |
| H19,1,1～H19,6,30 | 819,883 | 1,576 | 17 | 272 | 93,793 | 6,290 | 6,063 | 116,278 | 8,899 | 8,925 | 518,219 | 58,745 | | | 806 |
| 増減 | -51,796 | -122 | 2 | -35 | -10,892 | -566 | -790 | -3,758 | -1,119 | -409 | -32,126 | -2,046 | | | 65 |
| % | -6.3% | -7.7% | 11.8% | -12.9% | -11.6% | -9.0% | -13.0% | -3.2% | -12.6% | -4.6% | -6.2% | -3.5% | | | 8.1% |

4 出場件数増減の要因について(複数回答可)

| 出場件数全体が「増加」した要因と思われる項目 | 回答欄合計 (A) | (A)/2 本部 |
|---------------------------|-----------|----------|
| ① 高齢搬送者の増加 | 1 | 50.0% |
| ② 熱中症搬送者の増加 | 0 | 0 |
| ③ 上記②以外の急病搬送者の増加 | 1 | 50.0% |
| ④ 不適正利用者の増加 | 0 | 0 |
| ⑤ その他(上記以外の要因と思われるもの及び不明) | 2 | 100.0% |

| 出場件数全体が「減少」した要因と思われる項目 | 回答欄合計 (B) | (B)/16 本部 |
|----------------------------------|-----------|-----------|
| ① 一般市民への救急自動車の適正利用等の広報活動 | 12 | 75.0% |
| ② 頻回利用者への個別指導と毅然たる対応 | 5 | 31.3% |
| ③ 緊急性のない利用者への代替措置情報の提供(民間事業者の活用) | 6 | 37.5% |
| ④ 転院搬送業務への病院救急車の活用 | 4 | 25.0% |
| ⑤ その他(上記以外の要因と思われるもの及び不明) | 14 | 87.5% |

